

オフィス街ロードクリーン2017

国土交通省 道路局 国道・防災課



作業の様子

港区及び東京地下鉄(株)が協力して周辺で勤務する方々等に呼びかけを行い、昨年とほぼ同数の約900名の方にご参加いただき、総延長10,930mの歩道の清掃を行いました。10月に入ってから連日雨の日が続いており、開催できるか心配していましたが、当日は久しぶりの晴天となり、絶好のコンディションのもと、参加者の皆さんは熱心に落ち葉やゴミの清掃に取り組んでおられました。

集めたゴミの量は約317kgになります。ほとんどが落ち葉ですが、吸い殻やポイ捨てされた空き缶、不法投棄されたゴミなども、少ないながらも見かけられました。参加者からは、「いつも何気なく使用している道路にたくさんのゴミが落ちていることについて、再認識した」などの声が聞かれました。このような活動を通して、道路の管理に対する意識が少しでも浸透していただければ、と思っております。

10月26日(木)朝、霞ヶ関・虎ノ門・永田町周辺の中央官庁や民間のビルに勤務する人たちや地元町会などのボランティアによる歩道の清掃が行われました。

この取り組みは、「道路ふれあい月間」行事の一環として平成7年から実施しているもので、今年で23回目となります。始めた当初は、「官庁街道路清掃」として、国道1号の桜田門～虎ノ門間の約1kmのみで実施していましたが、その後、周辺の都道や区道についても範囲に追加し、平成13年からは「オフィス街ロードクリーン」という名称に変更して実施されています。当初は8月に実施されていましたが、一昨年からは、落ち葉や銀杏の実の清掃を行うため、10月に実施しています。始めた当初は、200人程度の参加人数で始まりましたが、近年は900～1,000人程度の方に参加いただいております。

今回は、国土交通省、同関東地方整備局、東京都、千代田区、



回収の様子